



2019.01

松田政策研究所



2019年 松田学 新春挨拶



昨年1年はいろんなことがありました。国際情勢を見ますと前半は米朝首脳会談ですね。どうなるのかまだはっきりしないままになっています。

後半は中国とアメリカの間のペンス副大統領演説も象徴してますようにですね。どうも今までとは違う動きが世界では始まってきたような感じがします。国内では国会の方は重要法案として働き方改革そして外国人を受け入れる入管法改正、これから日本が移民ではないと言いつつ、やはり世界から人を受け入れる国へ少し方向転換しているという意味で、一つの変化だったと思います。

そして年末にはカルロス・ゴーンの逮捕。これも、いろんな議論を巻き起こしておりまして入管法でどうなるかゴーン逮捕でどうなるか、その結果どうなるかは今年に持ち越されているということですね。米朝首脳会談もそうですし、米中

冷戦ではないかというこの国際情勢もトランプが12月1日に習近平との会談で90日の追加制裁関税猶予で2月末に期限が来るんですけど、中国がどんな玉を出すのかそれに対してアメリカはどうするのか、これから、昨年起こったいろんなことが今年は何らかの形で結果が出てくるとそんな年になるような気がいたします。

大きなグローバル社会の変化そして日本の国内の情勢、今年は参院選があります。政治に問われているのは、この動画の対談シリーズでも、以前小川榮太郎さんとお話したときにリアリズムに基づく保守政治が大事ですね、なんて話をしていたんですけども、もはや、理念の対立ではなく本当に日本の未来に向けた選択肢を与野党で描けるのか？ということが問われているんですが、どうもそのへんが心もとないというのが今年の課題の一つじゃないかと思っています。

財政もそうですね。消費税反対と言って、じゃあ社会保障どうするのかといった現実的な答え、これをきちっと保守系の論者も出していないといけない、それがまだまだできていない、私はそういう面から保守を大事にするからこそいろいろな提案をぶつけている訳であります。そして今年はいのしし年です。猪突猛進といいますけれども、日本は猪突できるのかどうかと、まず、ターゲットがよく見えていません。ターゲットをどうやって作っていくのか、そして猛進するに際してなんと言つても、国際社会が大きく変動している。昨年本格化した国内外の新しい潮流に、今年は、日本の国も国民も本格的に向き合い、具体的な行動に踏み出すべきではないかと思つています。そして、元号も変わる今年、日本はどういう方向を目指していくのか。日本の存在をきちっと作っていかねばならない。アメリカと中国の両大国の狭間で右往左往する、そういう日本であつてはいけないと思つています。

そこでこの松田政策研究所、昨年から活動を徐々に本格化しておりますが今年はいろいろな意味での未来社会に向けた国づくりということを具体化する年にしたいと、これが私の抱負であります。未来社会をプロデュースする松田学の活動ですが、「みらいのおかね」。これは新しい本が間もなく発刊されることとなります。いわゆる仮想通貨と言われているものなんですが、これをやっていくうちにあるいはサイバーセキュリティの研究を進めていくうちに日本がネクストソサエティの一番最初にモデルを作る国になるんだということを目指す。そのためにブロックチェーン革命ということを推進すべきではないかということをお私はいろいろな立場からこれから本格的に提言をしていき、また政策に実現していく活動を今年はいよいよ開始いたします。



▲
新春挨拶の動画
全体はこちらから

2018/12/5 松田学 もう一つの“顔” サロンコンサートでチェロ演奏



2018年12月5日(水)当研究所代表である松田学のもう一つの“顔”でもあるチェリストとして演奏会を行いました。第30回～ウィーンの香りをあなたに～と題したサロンコンサート。共演はプロのピアニストでもあり松田学の妻、松田裕美子さんと長女でこちらもプロのソプラノ歌手である、松田万美江さんです。松田一家は音楽一家でもあります。3人の競演はもちろん、松田学のチェロのソロ演奏も多数盛り込まれたアットホームな楽しい演奏会となりました。プログラムは、

W.A.Mozart:Ave verum corpus(アヴェヴェルムコルプス)

G.Charpentier:Depuis le jour(あの日から)

V.Bellini:”Eccomi in lieta vesta..oh! Quante volte”

(今私は婚礼の衣装を着せられ…ああ、幾度か)

F.Chopin:Nocturne Des-Dur Op27-2(夜想曲 変二長調 作品番号27の2)

F.Liszt:Sonetto 104 del Petrarca (ペトラルカのソネット104番)

J.S.Bach:Arioso from Cantata 156(アリオゾ)

P.Tchaikowsky:Andante Cantabile(アンダンテカンタービレ)他



元衆議院議員としての政治活動、松田政策研究所での政策提言や東京大学大学院客員教授としての研究が松田学の主たる活動であることはもちろんですが、幼少より続けている音楽活動も松田学のもう一つの“顔”です。大蔵官僚時代にはクラシックの本場ドイツへも留学経験があり、一度は音楽の道も模索したほどのクラシック通でもあります。チェロの腕前はセミプロレベル。限られた時間の中ではありますが幾つかのオーケストラでもチェロの演奏を定期的に行っており、この松田学通信では今後も松田学の音楽・文化活動も取り上げて参ります。

❗ 対談シリーズ本格配信開始!

【特番】対談 中林美恵子氏(早稲田大学教授)

『トランプ政権誕生の背景と評価、これからは、日本はどうする?..』



トランプ政権の今までの評価
米国政治の基本的構造、日本政治との違いは?/米国の予算編成はどのように行われるの?/中間選挙の評価、ブルーウェーブ・グリーンウェーブ/トランプ大統領の再選は?



松田政策研究所
YouTubeチャンネル

松田政策研究所チャンネルでは松田学代表が今まで培ってきた人脈から各界の様々な専門家をお呼びし日本で起こっている問題について対談していきます。

❗ 2018/12/21

第1回オープンセミナー開催!

『消費増税問題とネクストジャパン』

～日本には豊かな未来に向けたストーリーはあるのか?～
講師:松田学

松田政策研究所では、有料動画会員の為の座学の勉強会として企画されておりますが一般の方々も参加できるオープンセミナーの形で今後定期的なセミナーを開催予定です。今回は第1回セミナーを上記テーマで12月21日に開催しました。今後は年間4回ほどを予定しておりその都度時流に沿ったテーマを取り上げ松田学並びに松田政策研究所の研究員による講演を行います。映像は会員サイトへUPします。

次回は2019年2月予定



松田学
公式サイト



松田学
Facebook



松田学
公式ブログ



松田政策研究所
動画チャンネル